

月歩学歩

“月日を歩き、学んで歩く” 明德の「今」を伝える月刊誌「げっぼがっぼ」

土壌を耕す

もうすぐ前期が終わりを迎えます。この半期は、学生がさまざまな土壌を耕す時期であったように感じました。明德が大切にしている「体験から学ぶ」学びの方法を代表するアクティブ・ラーニングや実習、授業「音楽表現演習」など、本号では明德を支え、学生を支える土壌をお届けします。

1年生

4 教養基礎演習「アクティブ・ラーニング」の取り組み

2年生

6 教育実習Ⅱを振り返って

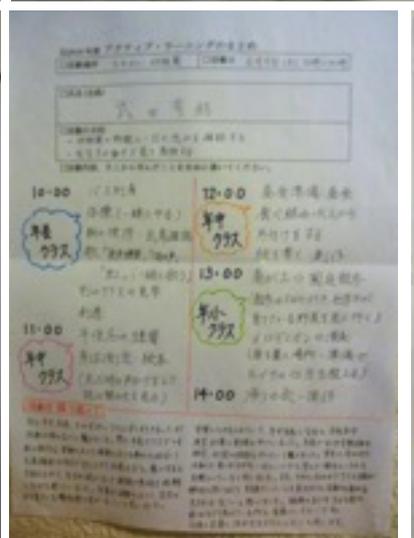
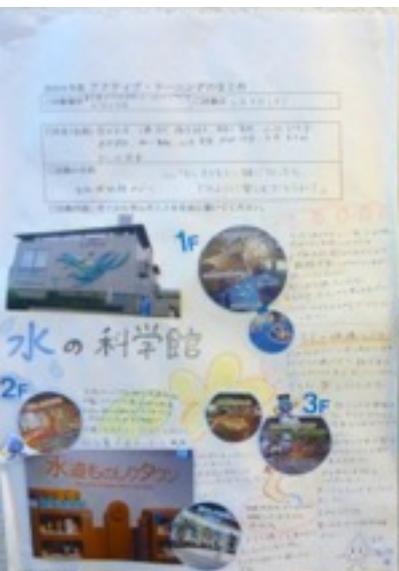
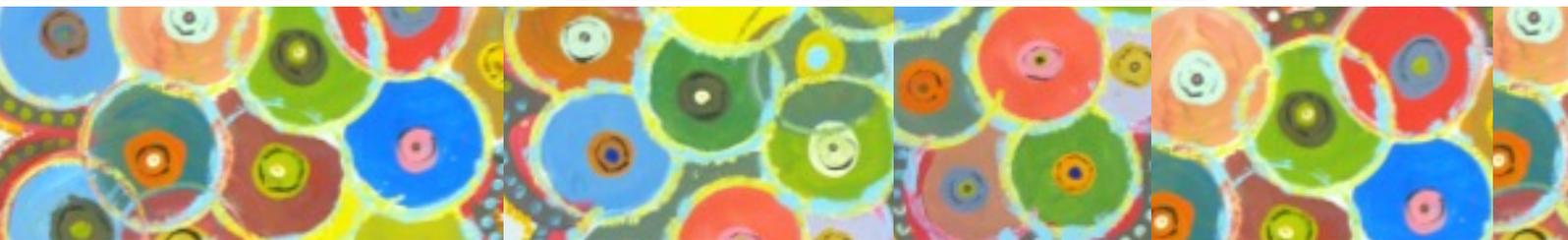
8 授業紹介「音楽表現演習」

10 学生委員ページ

12 教員からのおすすめ

13 !Hot News!





！1年生！

教養基礎演習

「アクティブ・ラーニング」の取り組み

明石 現



「アクティブ・ラーニング」とは、「教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る」（文部科学省、用語集、2012、p4、17）のことで、本学ではこのような学修形態を以前から大切にしてきましたが、昨年度から「アクティブ・ラーニング・ウィーク」という名称とし、教養基礎演習の中で実践しています。今年度の学生の様子について、担当教員の明石先生から報告です。

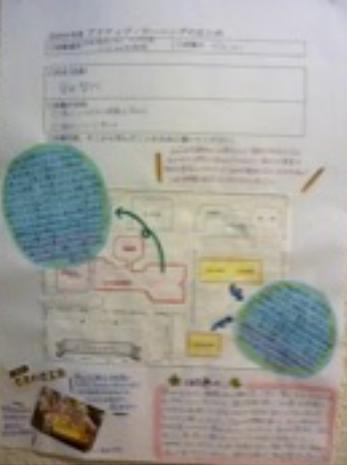
1年生前期の教養基礎演習において、昨年に引き続き「アクティブ・ラーニング」として6月9日・10日の2日間、様々な活動が学内外で行われました。

学生の皆さんが自ら体験先を考えたコースや教員企画のコースによる少人数グループでの体験を通し、新たな興味関心が芽生えただけでなく、学生同士のつながり、教員と学生とのつながりを形成する良い機会になりました。固定化されたグループだけではない学年全体の交流や教員とのつながりは、学内の風通しを良くし、共に学ぶことへの意欲の醸成を促します。

授業とは、言うまでもなく教員から学生へ知識を授ける行いだけではなく、学生が自らの力で課題を解決する力を養うものでもあります。その意味では、すべての授業が「アクティブ・ラーニング」であると言えます。一見、保育や福祉と結びつかない取り組みの中にも、それに必要な、せんさいな「教養」が含まれています。働き手になるためだけではない、多様な体験の積み重ねが学生の皆さんの揺るぎない土台の一部になることと思います。

かのヘレン・ケラーは言っています。「ものごとを鑑賞するには、理解よりも共感することが必要である。学者の一部は、花も根も茎も生長の過程も全て知っているのに、天国の露に濡れたみずみずしい花の美しさはわからない…」と。

自分一人では出来ない体験を通して、学生の皆さんが新しい世界を垣間見る第一歩を踏み出したことを喜びたいと思います。



「社会福祉現場」



「あそぼうカー」



「学長企画 (裁判傍聴・八街少年院)」



「大村先生とミステリーツアー」



「ゆったりの (子育て支援)」

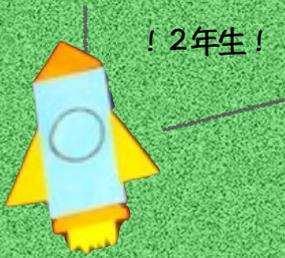


「佐藤先生とアナログ生活」

↑グループでふりかえり、各々ポスターとしてまとめました。↓

コース名	活動場所
①明德そでの保育園 ②夕涼み会	習志野
山武市立しらはたこども園	山武市
千葉幼稚園	千葉市
ゆったりの (子育て支援)	新宿区
育ちあいのひろばたいむ	学内
①まんぷくCafé ②おゆみのカフェ	学内
池谷先生とミステリーツアー 野沢テットー広場 (子育て支援)	世田谷区
千葉県文化会館	千葉市
四街道プレイパーク	四街道市
おやこカフェ(子育て支援)	千葉市
山登り①	高尾山
山登り②	筑波山

コース名	活動場所
①国際子ども図書館+α ②東京おもちゃ美術館・消防博物館	上野・四谷三丁目
夜通し歩く：九十九里海岸で朝日を眺める	学校～九十九里浜
無料の博物館めぐり	都内
キレイにしよう！私たちの学校！	学内
学長企画 (裁判傍聴・八街少年院)	千葉市
川越+浅草・両国	川越、浅草・両国
あそぼうカー	南小仲台保育園
佐藤先生とアナログ生活	習志野市～東京都台東区
大村先生とミステリーツアー	北鎌倉
母園・母校を訪ねる	各自
その他、知り合いの園・馴染みの園・施設等への訪問・体験	各自
アドミッションセンター	学内
社会福祉現場	



教育実習IIを振り返って

- 「充実の実習サポート」再考 -

小久保 圭一郎

短大生活2年間の中で多くの学生にとっての“天王山”教育実習II。3週間という、これまでにない長期間、そして事前指導での課題の多さも半端ありません。同様に「実習前の課題が多過ぎる」や「なぜ3週間なのか。2週間で良いのではないか」といった、学生からの不満（意見？要望？）の多さも、半端ありません。でもこの課題の多さと実習期間の長さが、学生にとっての就業力につながっていると、僕ら教員は信じて指導に取り組んでいます。

そして、そうした僕らの考えを受け止め、毎年学生を受け入れて下さっている幼稚園の先生方、子どもたちには感謝をしてもしきれない気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

さて、僕が教育実習IIの担当になったのは、実に九年振りです。明德短大に勤めて1年目に担当となって以来のことです。今回は、久方ぶりに担当となって考えたことを、僭越ながらこの場を借りてお話ししようと思います。よろしくお付き合いください。

僕が実習の巡回に行った、ある学生さん。この学生さんを仮にAさんとします。

Aさんの実習幼稚園を訪問した際、ちょうど部分実習（実習生が活動を展開する時間）に取り組んでいる最中でした。ペープサートを使ったクイズを、歌を交えながら子どもたちに披露しているAさん。

実習が始まって初めての部分実習だったからか、あるいは教員である僕が観ていたからか、かなり緊張して声も出ていないようでした。子どもたちもどこか「どこまで一緒に楽しんでいいのやら…？」という感じで、今ひとつ盛り上がり欠けるものでした。

その後すぐ、幼稚園の職員室で面談をしました。Aさんは終始泣きっぱなし。なぜ泣いているのか話さないで、ひとまず部分実習の感想を伝えてアドバイスなどもしたのですが、彼女には響いていないようでした。その様子を観た園長先生は「学校の先生が来たんで安心し（涙を流し）たんでしょ」とおっしゃってくださいましたが、僕はどうも違う、彼女の涙は別のところにあるような気がして、後ろ髪をひかれる思いで幼稚園を後にしたのでした。

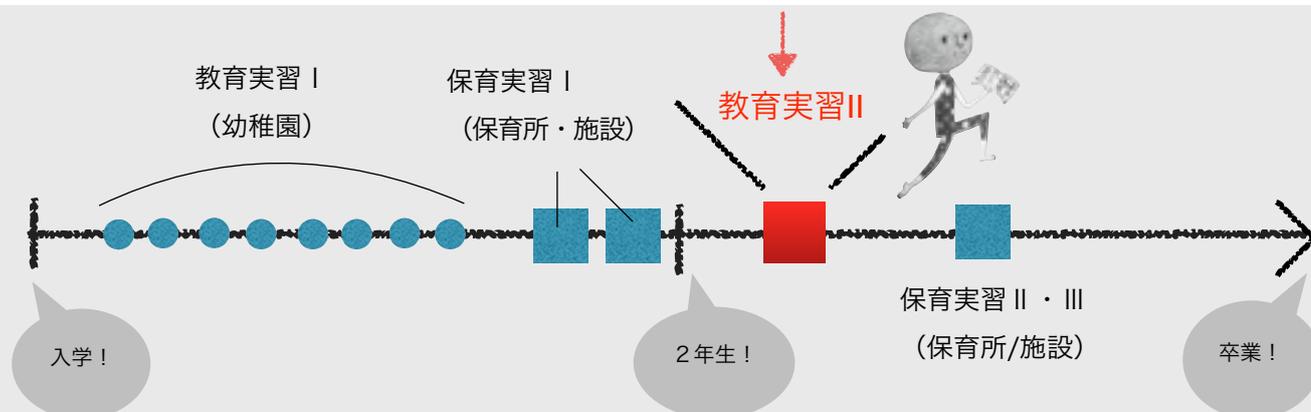
3週間の実習期間中、短大での中間指導日があります。毎年「千葉県民の日」に行かないです。その日、Aさんも登校してきました。実習のことを訪ねると、また泣き始めます。泣くばかりで涙のわけを話すこともありません。もともと彼女は、よく泣くのです。ですから、心配ではありましたが、あまり突っ込んだ話をせず、その日の中間指導を終えました。

そして、実習期間もあと1週間を残すこととなり、別の学生の実習巡回に行った時のことです。衝撃的な話を聞きました。その学生は、僕にこう言うのです。「Aちゃんから連絡ありました？ラインで『実習が辛い。実習辞めると小久保さんに言う』って言ってましたよ！心配ですね！（自分の方がもっと心配なくせに）」。あと1週間で実習期間が終わるのになぜ…？

その日の夜、僕はAさんから実習辞退の電話が来ることを覚悟していました。しかし、Aさんからの電話はありません。「少しでも実習の辛さを吐き出させて、Aさんの負担を少しでも軽減すべきか？」僕は携帯電話を手に取りました。でも、すぐに思いなおしました。「Aさんから連絡がない以上、こちらから連絡をするのは、むしろAさんを信用していないということではないか？」と考えたのです。その後Aさ

6月、3週間の幼稚園実習を終えた2年生が学校に戻ってきました。実習は、「幼稚園で実習を終えたから終わり」ではなく、事後学習（ふりかえり）を含めて実習です。教員としてのご自身の実習指導のあり方と学生の実習をふりかえった小久保先生からの報告です。

明德2年間での実習



んからの連絡はありませんでした。そして、3週間の実習期間が終わりました。

事後指導で、僕はAさんに尋ねました。「泣くほど、実習の何が辛かったの?」「実習中は先生方の指導が辛くて仕方なかった。でも終わってみると、何でそんなに辛かったのかわからない」。またも泣きながら、Aさんはそう応えるのでした。

この時、Aさんに連絡を取らないで良かった、と思いました。実習中彼女に気持ちを吐き出させたら、かえって気持ちが崩れてしまっていたかもしれません。僕が知る限り、実習先の先生方の指導はとても丁寧なものでした。それが辛かったとするならば、3週間という期間の中で、彼女自身が自分で自分を追いつめていたのでしょう。そうした時も「辛い」という否定的な気持ちを口にしてしまったら、それはより強固なものとなります。

何より、Aさんは持っている資質、実習先共に、この3週間を乗り切れるのに十分なものでした。Aさんは自分の力だけで、もちろん実習先の先生方や子どもたち、友人の助けなどあったと思いますが、少なくとも教員の助けなく、実習を乗り切ってきたのです。

Aさんに余計な手助けは必要ありませんでした。少なくとも、Aさんの実習が辛いと聞いた時、敢えて連絡を取らなかったのは正解でした。

思えば、僕はこれまでの実習で、学生に「丁寧だけど、余計なサポート」をしてきました。実習期間中「辛くて辞めたい」という学生の電話に2時間3時間付き合った学生も、数多くいます。その時は「少しでも、辛さを吐き出させて、負担を軽減させたい」と思い学生の訴えに付き合ってきましたが、それがかえって彼女達の「実習が辛い」という気持ちをより強固なものにさせてしまっていたように思います。「そんな暇があったら、実習日誌を書け!」と言って電話を切る、というような対応をしても良かったんじゃないか、と今では思います。

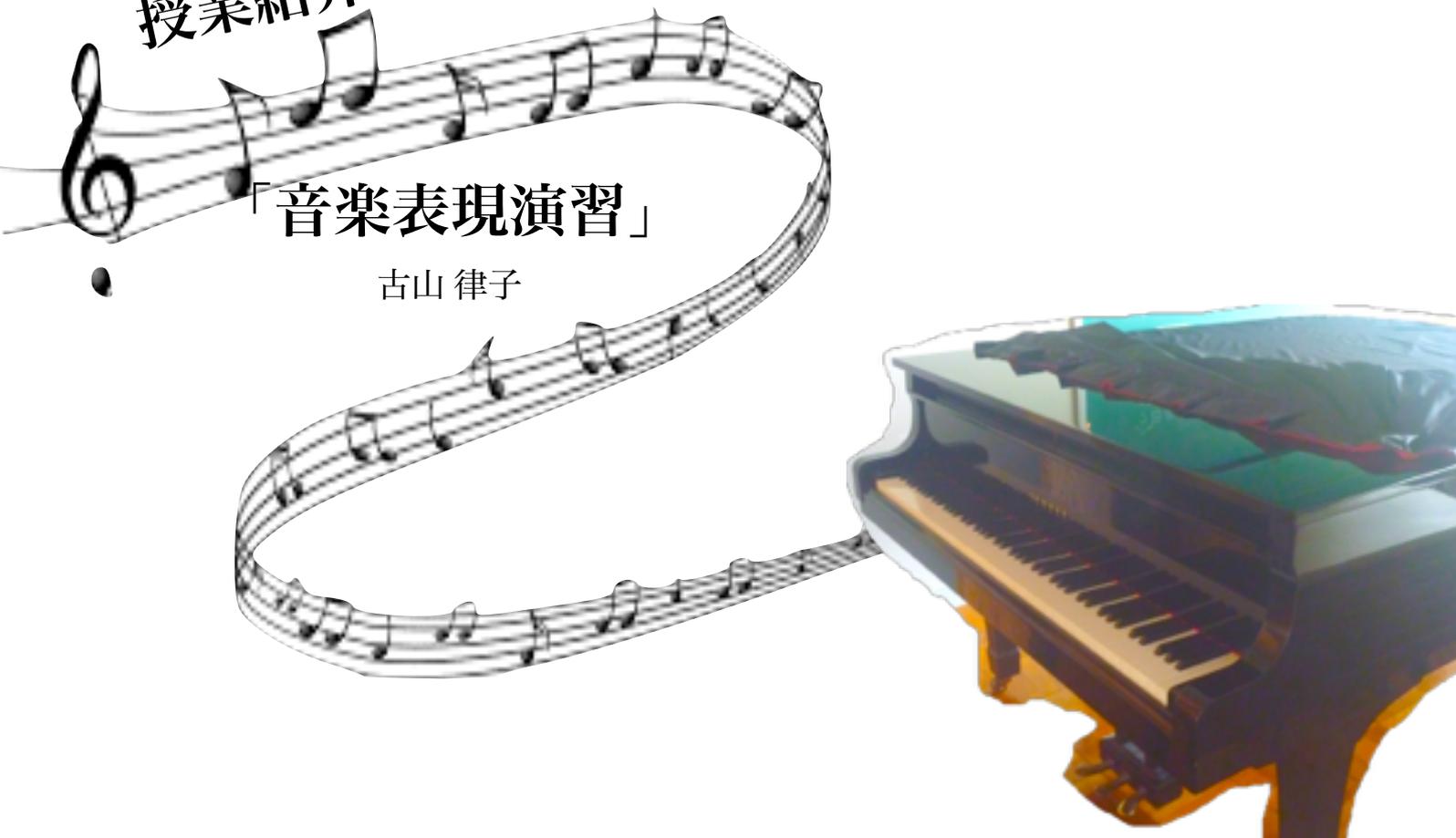
「先生が話を聞いてくれたおかげで、実習を乗り切ることができた」。そう言ってくれる学生もいることでしょう。でもそれは、結果的に学生の自立を妨げているように思うのです。

あえて放っておいた方が、学生は自分で何とかしようとする。それができる力を学生は本来持っているのではないのでしょうか。

授業紹介

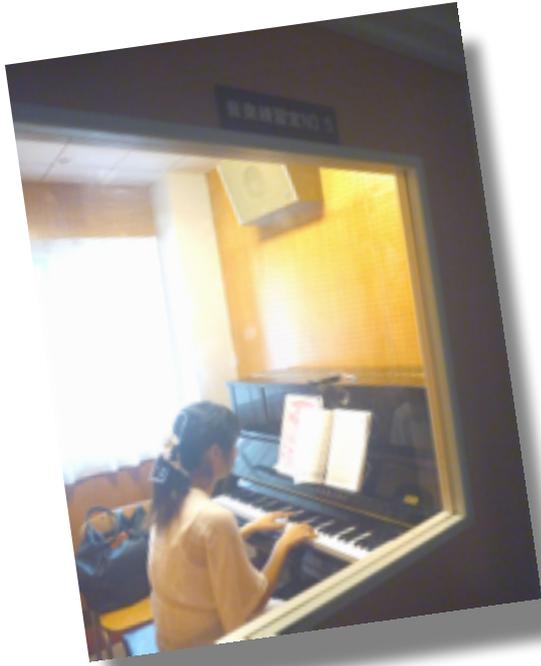
「音楽表現演習」

古山 律子



保育者を目指す学生さんは、こどものうたとその伴奏法に関する技術を習得する科目を履修することになります。大学、短大、専門学校など、他の保育者養成機関においても同様です。保育士試験で資格取得を目指す人にも、こどものうたの課題2曲を弾き歌いするという実技試験が課せられています。このように、こどものうたを歌うこと・伴奏することは、保育者にとって必要な表現技術として位置づけられているのです。

本学においては、今年度から「音楽表現演習ⅠⅡⅢⅣ」として、それぞれ半期ずつ2年間を通して、こどものうたを歌うこと・伴奏すること等の音楽表現に触れられるようなカリキュラムを設定しています。1年次の「音楽表現演習ⅠⅡ」では、ピアノあるいはギターによる伴奏を弾きながら、こどものうたを歌う表現技術を身に着けるとともに、音楽理論に関する基礎知識を理解し、実際に活用できることを目指しています。そして、2年次の「音楽表現演習ⅢⅣ」では、1年次の基礎的な知識と技術を活用しながら、実際に保育の現場で生かすことのできる応用的・実践的な表現力を身に着けることを目標として取り組んでいくのです。さらに、2年次には乳幼児と楽器のかかわり・指導のポイントや幼児の音楽教育に影響を与えたエミール・ジャック＝ダルクローズ、カール・オルフ、ゾルタン・コダーイ、鈴木鎮一、ジョン・ペインター、マリア・モンテッソーリについてもテキストを通して学びます。



明徳の学生さんは、短大に入学してからピアノやギターの練習を始めるという方々がほとんどです。楽譜の読み方を知り、両手でピアノやギターを弾きながら、目の前の子どもたちに届くように心を込めて歌うということは至難の業です。毎日ピアノ練習室から課題に取り組む学生たちの音が、目の前にある私の研究室には響いてきます。授業の課題やレポート、試験準備、実習など、たくさんのことを抱えながら、コツコツと練習に励む姿には本当に感心しています。

私は明徳の学生さんが将来一人でも多く千葉の保育者として輝き、そして、こどもとの暮らしの中で自然を大切にしながら、四季折々の素敵な歌に親しみ、音・音楽を愛して過ごしていただくことを願っています。それはピアノやギターに限ることではないかもしれませんが、たくさんの子どものうたや音楽にふれあうことのできるこの授業での経験が、基盤となるに違いありません。2年間「音楽表現演習」にかかわるスタッフ全員で日々議論を重ねながら、学生さんを全力で応援していきます。



「明德にいる人たちのことをもっと知りたい！」という月歩学歩学生委員からの声により、前号に続き、月歩学歩学生委員ページは、職員の方々の紹介ページになりました。学生委員がインタビューし、写真撮影を行いました。

教職員も皆さんと同じ、学校の一員です。この記事をきっかけに話しかけてみてはいかが？

こんなこと聞いてみました♪



① 担当 ② 座右の銘 ③ 最近のブーム

- ① 事務長
- ② ほどほどの幸せ
- ③ サッカー観戦

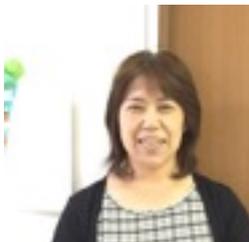


石井 信彦

- ① 教務
- ② 一生懸命
- ③ 息子と遊ぶこと



伊場 しのぶ



大木 美奈子

- ① 教務
- ② 一家団欒・笑顔
- ③ 子どもたち・ゴムバレー

- ① 教務
- ② 物事は丁寧に
- ③ バイオリン始めました。



小出 一豪

- ① 学務
- ② 人生は一度きり
- ③ 旅行、昭和の少女漫画、クロスステッチ、ピアノ



小島 美由紀



佐瀬 優

- ① こども臨床研究所長
- ② ない
- ③ 子ども服売り場巡り
トイザラス、ベビザラス (孫ブーム)

延 の 瞳 麻 映 直 望 乃 紀 晴

- ① 保健室
- ② 「あきらめたらそこで試合終了だよ！」（「スラムダンク」より）
- ③ うさぎとたわむれる



進藤 延江



高橋 のぞみ

- ① 総務
- ② 心を磨く
- ③ 芝刈り、サッチとり



高橋 瞳

- ① アドミッション・センター
- ② なんとかなる！！
- ③ 山登り、おいしい焼き鳥を食べに行くこと



- ① こども臨床研究所
- ② なんでも努力すること
- ③ こどもたちの習い事観戦



地挽 麻子

- ① 学務
- ② 清く正しく美しく
- ③ 美味しいもの探し



築城 映子



得重 直純

- ① 総務
- ② Grin and bear it. (笑って耐えろ)
- ③ ディープ昭和史探訪



中野 望

- ① 図書館
- ② とりあえずやってみる！
- ③ ガーデニング、スタバ♥



- ① 育ちあいのひろばたいむ
- ② 壁にぶつかったからが本当の勝負
- ③ ダイエット



本田 美乃

- ① アドミッション・センター
- ② 今日より明日
- ③ 国内外の旅行



増田 紀美子



吉峯 健晴

- ① アドミッション・センター
- ② 努力
- ③ 自転車に乗ること、古い本・漫画を収集すること、散歩



PROFILE



教員名

しばた だいすけ
柴田 大輔

担当科目

保育方法演習

メッセージ

子どもは体験を積み重ね、昇華した経験から生きる術を学びます。

毎日の生活に追われ、おとなが見逃しがちな身近なことにも子どもは繊細な感性で感じ取っていきます。道端に咲く花、青空に流れる白雲、夕暮れに鳴く虫の声...一つ一つの出会いを糧にし、自らを豊かな存在へと形作っていきます。

子どもの秘めた感性を見出し伸ばす。その為に私たち自身が子どもとともに暮らし、喜びや悲しみを共感する感性を大切にしたいと思えます。

教員からのおすすめ

本学図書館には、各教員の専門分野や関心が一目瞭然の「推薦図書コーナー」があります。この連載では、その一端のみならず、教員から皆さんへの「おすすめ！」を紹介していきます。

第2回目は附属幼稚園園長でもある柴田先生からのおすすめです。

「ふってもはれても」

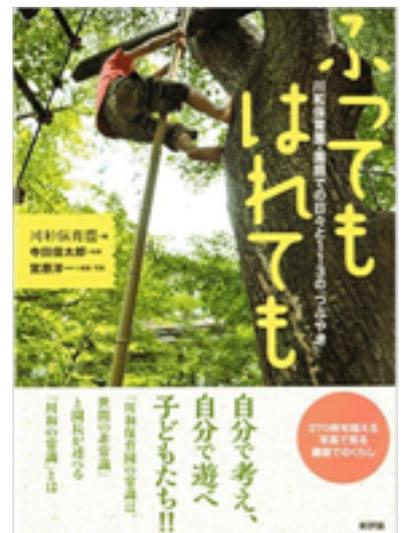
～川和保育園・園庭での日々と113の「つぶやき」～
川和保育園（編）（新評論、2014年）

「子どもの育ち」。そのために私たちは何ができるのでしょうか。保育に携わる私たちにとって永遠のテーマであるこの問いに対して、本書の「川和保育園」の取り組みを紹介したいと思います。

「おとなが子どもを育てる」。ともすれば「おとなが育ちを担う」と考えがちです。しかし、育つ主体が子ども自身であるならば、あくまでも主役は子どもであり、おとなは子どもの育ちを支える存在と言えます。子どもは自ら「育ちたい」という願いを持っています。育ちを支える、そのためには興味・関心を持ち、「やってみたい」と自ら取り組む意欲の育つ土壌、その環境を創ることが大切です。

川和保育園の「子ども自ら『チャレンジしたい』と意欲を持って取り組む環境」。それは魅力的な環境である一方、安全性から設置を躊躇するような環境でもあります。なぜなら安易に達成できるものは子どもの意欲につながらないからです。

一つの成功の裏には、失敗経験の繰り返しがあります。その経験から、子どもは今の自分のできる力を知ることになります。生来、人間は危険を感知し、判断する力を備えています。危険だから避けること、そのおとなの判断は逆に子どもを安全から遠ざけることになります。子どもの意欲を育む環境、そこには「子どもの持つ力を信じる」という信念が込められているのではないのでしょうか。本書を通じて、子どもを中心に置いて関わることの大切さを実感して頂ければ幸いです。



H O T NEWS new movement of this month in meitoku ! 明德速報!



「そうだ、選挙に行こう！」



18歳から選挙で投票できるようになったことを受け、授業「現代社会論」にて、6名の選挙管理委員を募り、7月6日（水）昼休み、各党の政策をまとめた選挙説明会を開きました。各党の政策をまとめたプリントは、1年生には授業「日本国憲法」で、2年生には授業「現代社会論」でも配布しました。



その結果、1年生は7割近く、2年生は7-8割が投票に行ったようです。全国の投票率の統計は、18歳は51%、19歳は39%。それよりはるかに高い結果です。皆よく行った！ また選挙に行こう。（金子）



♪ ♪ オープンキャンパス × 2 ♪ ♪

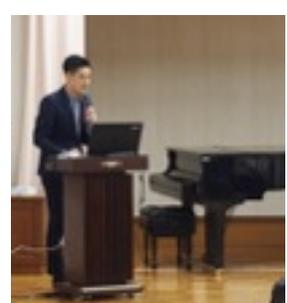


6月25日（土）・7月9日（土）、オープンキャンパスを開催しました！

6月の体験授業 ➡ 「幼児期と造形表現」「幼稚園はどんなところ？」

7月の体験授業 ➡ 「絵本を楽しもう」「こどもの好きな“先生”って？」

在学生スタッフ皆さん、いかがでしたか？ 普段の授業とは一味違う雰囲気だったのではないのでしょうか♪ 次回は夏休みの8月7日（日）です！一緒に楽しみましょう！（鶴田）



明德はうたう♪



1. 『ミッキー・マウス・マーチ、小さな世界、ハイ・ホー』 「ピアノII」 井出・福中クラス (2年)
2. 『掛川』 高森智子 (教員)
3. 『Believe』 「ピアノII」 古山クラス (2年)
4. 『私のお気に入り、君をのせて、ヘドウィグのテーマ』 「ピアノII」 木村・曾我クラス (2年)
5. 『風の通り道』 「音楽表現I」 明石クラス (1年)
6. 『星に願いを』 「ピアノII」 明石クラス (2年) ・明石現
7. 『ニュー・シネマ・パラダイス』 小出一豪 (職員) ・田中葵・明石現 (教員)
8. 『エレクトカルパレード、美女と野獣、ミッキー・マウス・マーチ』 小柳葉月・小林万祐 (1年)
9. 『ホール・ニュー・ワールド』 水口恵・宮田智代 (1年)
10. 『さんぽ、いつも何度でも、崖の上のポニョ』 井出香里・福中琴子 (非常勤講師)
11. 『アメイジング・グレイス』 木村記子・曾我桂子 (非常勤講師)
12. 『にじ』 『こどもたちとないたりわったり』 中林忍・中野康之・森誉太 (附属幼稚園教員)
13. 『君の知らない物語』 鈴木彩香・丸島佳織・堀内汐音・小林英里佳・杉本拓海 (2年)
14. 『夢見る パリピ』 中島杏菜・横山有咲・佐生祐太・西元直哉・佐久間美穂・佐久間美帆・宮橋彩香・嶺井亜季美・諸橋優紀 (2年)
15. 『日曜日よりの使者』 橋本淳・杉本拓海 (2年) ・高橋瞳・吉峯健晴 (職員) ・金子重紀・鶴田真二・田中葵・高森智子 (教員)



7月15日(金)、教職員と学生が共に行うコンサート「明德はうたう」が開かれました。附属幼稚園の先生方も参加してくださり、講堂が音楽であふれました♪





学園祭のお知らせ



千葉明德短期大学 保育創造学科

学園祭

7月31日(日) 10:00 - 17:00

わんだーらんど
ようこそ 夢見る明德へ

おにぎり屋
 ハロハロ フリフリポテト フライドチキン
 吹奏楽演奏 書道パフォーマンス ダンス
 こども基地 からだ遊び隊 おばけ屋敷
 利賀村 施設 (まあるい広場、ときわぎ工舎)
 入試相談コーナー

※ たいむ (授乳、おむつ替えスペース、保育室) 開放しています
 ※ 駐車場はありません。

Meitoku Snap



学園祭に向けて、6月からそれぞれの役割を担った委員が自分のすべきことをし、毎週各委員で集まり、会議で情報共有をきました。それぞれの委員が責任を持って動いている姿はたくましかぎりです。いろいろあると思いますが、全体を見渡し、他の人と連携し協力し合いながら、充実した学園祭をつくってほしいと願っています。当日、楽しみにしています！



明德の7/8月

7月

1	金	研修生スクーリング
1	金	教育実習 I
5	火	研修生スクーリング
8	金	教育実習 I
9	土	オープンキャンパス
15	金	明德はうたう
19	火	研修生スクーリング
21	木	保育実践研究会
26	火	第60回スタバお話ライブ
29	金	前期授業終了
30	土	学園祭準備日
31	日	学園祭♪



ちょっと休憩で
けん玉に挑む金子先生♪👉

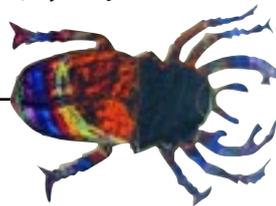
👉 お誕生日を祝う2人🎉



編集後記

1日を見送り1日を迎える。今月も明德では盛りだくさんな1日を積み重ねてきました。今号でもその一端をお伝えできたのではないかと思います。自分たちの軌跡をふりかえるためにも、読者の皆さんにお伝えするためにも、1日1日を文字で写真で記録していくことの大切さを感じています。

さて、前期がもうすぐ終わりますが、最後は学園祭での締めくり。今年はどうな学園祭になるのでしょうか♪
(鶴田 真二)



編集：田中 葵 鶴田 真二

- 読者の皆様へ：『月歩学歩』に対するご意見、ご感想を郵便やメールにてお寄せ下さい。

発行：千葉明德短期大学 千葉市中央区南生実町1412

- Tel:043-265-1613
- Fax:043-265-1627
- mail:tandai@chibameitoku.ac.jp
- web:http://www.chibameitoku.ac.jp/tandai.html
- blog:http://www.chibameitoku.ac.jp/tandai/campaslife/blog/html

8月

1	月	保育体験week (～5日)
1	月	特例講座 (～10日)
7	日	オープンキャンパス
12	金	事務室閉室 (～17日)
17	水	特例講座 (～26日)
18	木	メディア・コミュニケーション (～9月6日)
19	金	教員免許更新講習 (～24日)
22	月	保育実習II・III (～9月3日)
24	水	保育実践研究会
28	日	オープンキャンパス